

会 議 の 名 称	茅野市行財政審議会 第1回審議会		
開 催 日 時	令和元年7月23日(火) 18時15分～20時15分		
開 催 場 所	市役所8階大ホール		
公開・非公開の別	公開	非公開	傍聴者の数 0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
今井市長	<p>○議事</p> <p>1 開 会</p> <p>2 委嘱書交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 自己紹介(資料1)</p> <p>5 正副委員長の選出</p> <p>6 正副委員長挨拶</p> <p>7 案件</p> <p>(1) 審議会等の公開について(資料2)</p> <p>(2) 茅野市行財政審議会の役割について(資料3)</p> <p>(3) 茅野市行政経営基本計画について(資料4)</p> <p>(4) 茅野市行政経営基本計画の進行管理について(資料5)</p> <p>8 その他</p> <p>9 閉 会</p> <p>○議事録</p> <p>1 開 会</p> <p>2 委 嘱</p> <p>・市長から委嘱書を交付。</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>当審議会では、行財政に関する計画の策定や変更について、諮問させていただくほか、行財政に関する計画の進行管理についてご意見をいただきたい。</p> <p>昨年度までは、茅野市行財政改革推進市民委員会という委員会を設置し、行財政改革に特化し、委員の皆さんにご意見をお伺いしてきましたが、第5次総合計画の進行管理にあたり、行財政改革に関する事項を含めた行政経営全般について広くご意見をお伺いしたいことから、新たな組織として今年の4月に行財政審議会を設置した。本日委嘱させていただいた委員の皆さんは、第1期の委員となる。</p> <p>本審議会では主に進行管理等を行っていただく茅野市行政経営基本計画は、住民自治、政策運営、財政運営、情報受発信の4本の柱で構成しており、第5次茅野市総合計画で掲げる5つの基本政策や政策横断プロジェクトを実施するための下支えとなる計画である。</p> <p>この計画は、平成30年度からスタートしており、今年が進行管理の1年目となる。</p>		

	<p>計画の進行状況については、この後事務局から説明させていただく。大所高所から忌憚のないご意見・ご提言をいただきたい。</p>
	<p>4 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員が一人ずつ自己紹介をした。 ・市職員が一人ずつ自己紹介をした。 <p>(市長退席)</p>
小平企画財政課長	<p>5 正副委員長の選出について</p> <p>初回の会議であるため、正副委員長を委員からの互選することとなっているがどのようにしたらよいか。</p>
委員	<p>選出について事務局で腹案はあるか。</p>
小平企画財政課長	<p>腹案として、本審議会の前身である行財政改革推進市民委員会の時は、委員長を商工会議所から選出された方、副委員長を公立諏訪東京理科大学から選出された方をお願いしていた。よって、委員長を金子好成委員、副委員長を奥原正夫委員にお願いしたい。</p> <p>(異議なし)</p>
小平企画財政課長	<p>賛同いただいたので、委員長を金子委員、副委員長を奥原委員にお願いする。</p>
	<p>6 正副委員長挨拶</p>
委員長	<p>難しい審議会かと思うが、委員の皆さんの活発な意見をいただき進めて行きたい。</p>
副委員長	<p>委員長の支援をしっかりとしていく。</p> <p>以降、金子委員長による進行とする。</p>
	<p>7 案件</p> <p>(1) 審議会等の公開について</p>
吉澤主査	<p>・・・資料2に基づき説明・・・</p>
委員長	<p>この審議会は公開することとし、会議録については発言者の氏名は匿名とし、委員と記載して、HPに掲載するがよろしいか。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p>(2) 茅野市行財政審議会の役割について</p>
吉澤主査	<p>・・・資料3に基づき説明・・・</p>

	(異議なし)
原田企画係長 吉澤主査	(3) 茅野市行政経営基本計画について ・・・第5次茅野市総合計画概要版に基づき説明・・・ ・・・資料4に基づき説明・・・
委員長	意見質問はあるか。
小平委員	計画書の目的の中で、安定した行政経営が大切だと書かれているが、数値目標はあるのか。
小平企画財政課長	計画書のP16～19に施策の目標指標を設定している。
委員	安定した行政経営ということで、財政が赤字にならないような指標の設定はあるのか。
小平企画財政課長	財政面での指標は、P35に3つの目標指標を設定してある。そのうち一つ目が、基金を取り崩さない、赤字にしない財政運営の指標である。
委員	4本の施策の中では財政運営が一番重要だと考えているが、全体的な目標がはっきりしない。財政力指数などの数値を設定することが重要ではないか。また、13本の柱の指標では、削減や増加といった曖昧な目標設定をしている指標があるが、今後具体化するのか。全体として目指す数値はあるのか。
小平企画財政課長	全体の数値目標について、この計画は4つの施策から構成される中で、計画策定時には一つの大きな目標を立てづらい状況であった。進行管理を行う中で、委員の皆さんからご意見をいただき、一つの大きな目標を設定できるようであれば設定していく。また、細かい数値目標の設定についても、進行管理の中で見直しをしていく。
委員	国の方針であるSDGsについては今後対応していくのか。
小平企画財政課長	総合計画では、計画を推進することでSDGsについても推進することができるとの考え方を持っている。しかし、市として計画等に取り込んだ方が良いのではないかとのお考えもあると思う。ここで改定となる一部の計画では、SDGsの考え方を取り込むものがある。行政経営基本計画においても、改定に合わせて、考え方を取り込むことを検討していきたい。
	(4) 茅野市行政経営基本計画の進行管理について ・・・資料5に基づき説明・・・
吉澤主査	①協働のまちづくりによる住民自治の実現の説明
委員長	意見質問はあるか

委員	課題として掲げられている、あらゆる主体同士のつながりを築くための支援や、職員のコーディネート力向上のための、より具体的な改善内容の記載はあるか。
牛山センター長	事務事業では、市民活動の普及、啓発、連携、支援の中で各種講座をH29年度実施している。また、より効果的な講座にするための見直しも行っている。
委員	課題解決のために、具体的に何をいつ変えるのかといったことを評価書の後ろに記載してはどうか。具体的に記載することで、良い循環で次のP(プラン)につながるのではないか。
委員	入区率が減っていることは大きな問題。自分の区でも入区しない人が増えている。入区については、どちらかという区に任せられているように感じるが、市としての支援や活動はどんなことを行っているのか。
有賀P推進課長	転入時に入区についての案内をしている。また、同意いただいた方については、区長へ転入者の情報を伝えている。区への加入金について全100区の調査を行い、各区にフィードバックして、他の区との比較を行い金額の高い区については、検討いただいている。また、不動産業者にも入区金等の情報を出し、不動産業者からも茅野市は区の活動を大切にしていることについて説明をしてもらっている。
委員	入区が一番の入り口となるので区に入りたくなるような説明をお願いしたい。入区すれば、区の行事などにも自然と参加するようになる。
委員	目標設定について、中間目標ではなく単年度の目標はないか。
小平企画財政課長	目標設定の考え方は、単年度にこれだけの数字を目指すという目標と、5年後の中間目標に近づけていくといった目標設定をしているものがある。事業の性質によりまちまちとなっている。
委員	個人的には毎年の目標が無いと達成感が感じられないのではないかと感じる。
委員	全体評価が「おおむね順調」となっているが、パートナーシップのまちづくりの推進の満足度は計画策定時より下がっている。施策の指標が下がっている状況でこの評価としたのはなぜか。
有賀P推進課長	昨年度、パートナーシップのまちづくりについて、市民会議や地域の中で様々な話し合いを行った。それにより、これまでとは違った動きが出てきたため、「おおむね順調」とした。
吉澤主査	②効率的・効果的な行政経営の推進の説明
委員	職員数は、一番お金がかかる部分であり、よって削減は必要になる。どう減らすかを考えた時、生産性を見直しや無駄な仕事を無くすことはもち

	<p>ろんだが、課や部を横断した組織やトップダウンによることが必要ではないか。企画財政課が主導権をとって、横断的に実施しないと人の削減は難しいと感じるが、現在はどんな形で取組を実施しているのか。</p>
土橋総務課長	<p>計画策定時 517 人に対して昨年度は 520 人と 3 人増えている状況であるが、増加分は保育士となっている。目標は減少ではあるが、保育園の受け入れ態勢整備のため現実に保育士が必要であり、一概に減とすることができかった。</p>
原田企画係長	<p>業務の見直しについて、改革・改善の中で、全業務の見直しを 2019 年度に実施するとした。市役所の全ての事務事業について見直しを行い、事業の廃止・統合や民間活力を活用できるものについて積極的に民間に出していくことを今年度 1 年間かけて検討し、R2 年度以降の予算に反映させたり、事業が固まった所で職員定数に反映させたりしていく。</p>
委員	<p>施策の柱 2 行政組織の効率化と職員数の適正化については、昨年度何もなかったように見える。必要な人が増えるのは仕方のないことだが、棚卸をしなくても中長期的に見て人を減らしていく部署の目途はたてておかなければならない。棚卸が全て終了してから職員数に手を付けるのでは、スピード感が遅いのではないか。昨年度この項目では具体的に何を実施したのか。</p>
小平企画財政課長	<p>どんな事業をして、どんな所に見直しの余地があるかについて、毎年行政評価を通じて検証し、また予算要求の中でも今まで実施している事業の洗い出しをこまめに行っているが、大きな成果が昨年は見込めなかった。見直しにあたり、小さいものは内部で実施するが、市民サービスに影響が出るような事業については慎重にまた多少の時間をかけて行っていく必要がある、昨年度ではなく今年度大きく舵をとっている状況である。</p>
委員	<p>定型的な事務や民間で R P A の導入をしているような事務については、R P A の導入を検討し、実施している部分があれば実績として評価シートへ記載をした方が正しい評価ができる。</p>
小平企画財政課長	<p>機械化についてはこれか大切な視点であり、これから取り入れていく。</p>
委員	<p>一律に人員といってもいろんな人員がいる。一律にするとどの職種の人員が増減しているのか分からない。昨年度のように保育士が増になっても市民は納得すると思う。職種を分けて公開していったらどうか。</p>
土橋総務課長	<p>内訳は把握している。公開は差支えない。指標としては全体の数値になるが、内訳を評価シートに書き込むようなことはできるので次回から検討したい。</p>
委員	<p>P8 で市民アンケートにおける職員の接遇と業務遂行に対する満足度が上昇していることは素晴らしい。職員の増減といった目標もあるが、その他の指標についても改善していくように取り組んでいただきたい。</p>

吉澤主査	③持続可能な財政の確立の説明
委員	P12 経常収支比率の改善で、退職手当の減となっているが、退職者が減ったのか、退職金が減ったのか。
小平企画財政課長	退職者の人数が減り、退職金も減った。
吉澤主査	④戦略的な情報発信・市民の声の反映と情報共有の説明
委員	インターネット動画番組のアクセス件数が指標となっているが、若い世代は、インターネット動画を見る前にフェイスブック、ツイッター、インスタグラムを見る。フェイスブックなどは如実に努力の結果が分かる。フェイスブックのフォロワーが増えればHPを見る人も増えるのではないか。フェイスブックも有益な情報を流さなければ意味がない。個人的には専任で人を付けても良いくらい重要だと思う。フェイスブックのフォロワー数を指標にしてみたらどうか。
田中地域戦略課長	昨年度は、市HPの更新やフェイスブック等を新たに立ち上げる年であり、アクセス件数を増加させる取り組みはあまりできなかった。SNSのアクセス件数について目標値が今後設定となっている。ここについては、リーチ数（アクセスしてどれだけ記事が見られたかの数）を目標設定していきたい。昨年度は10万リーチを少し欠けるリーチ数だった。2022年、2027年に向けては、60万～70万といったリーチ数を目指していきたい。
委員	<p>広報紙等にQRコードをつけてFacebookやHPへアクセスを増やせばどうか。</p> <p>市HPについて、知りたい情報に行くまでに時間がかかる。継続的に改善していただきたい。</p>
田中地域戦略課長	SNSからHPへの誘導や、市民の方に市民目線で情報を伝えていくことも大切だと考え、先日市内の女性6名を特派員に任命し、「チノクラシ」という情報発信を開始した。そのような様々な取組により市HPへの誘導や、全国的な情報発信を行っていきたい。
委員	P14 まちづくり懇談会について。市長と語る会からまちづくり懇談会へと名称を変更したが、内容は基本的に変わっていない。参加人数については多少の増減はどちらでも良いと思うが、住民が受け身的に関わっている感じがしてはがゆい。他地区の状況を聞いても、毎年やっているからといったマンネリ化した感覚で携わっている。行政は住民自治という言葉をよく使うが、肝心の住民が自分たちの自治といった言葉を使って物をいう機会がない。そこは住民にも責任があり、未成熟な部分である。改善していくためには、一人ひとりの市民が住民自治の立場にたって、日常的に物を言えるようなまちづくりができると良い。広報紙や情報共有でそういったニュアンスを取り入れたり、専門家の話を聞く機会があると良い。大きな災害などの時にはそういった意識をしっかりと持つが、普段はなかなか意識

	<p>しない。行政も様々な広報の中で住民自治の雰囲気をつくっていった いただきたい。</p>
田中地域戦略課長	<p>目標だけ見ると、参加者が増えれば良いといった目標になっているが、 会議の質の部分は考えていかなければならない。今年度も10月頃からまち づくり懇談会を行うが内容については十分検討する。広報的な部分の切口 として、防災は有効であるので今後も広報活動に努めていく。</p>
委員	<p>観光圏の確立が今井市政の大きな柱の一つになると思うが、情報発信の 施策は、観光について大きなウェイトを占めている。観光になぜ力を入れ るかと言えば収益を上げること。観光で人が来て、お金を落とし、企業が 潤い、茅野市も潤う。指標では地域ブランド調査全国順位が指標となっ ているが、何人の観光客が茅野市を訪れ、お店にいくらお金を落としてくれ たかといった指標があればわかりやすい。</p>
田中地域戦略課長	<p>交流人口や、観光客がいくらお金を落としてくれたかといった指標が簡 単に取れば良いが実際には難しい。それに代わる指標として、客観的な 評価をしてもらう中で地域ブランド調査全国順位を設定している。この順 位が上がってくれば、交流人口も増加してくるだろうということで置き換 えをしている。ご指摘いただいたような指標が取れるようであれば検討す る。</p>
委員長	<p>施策評価シート全体を通して何が意見質問はあるか。</p>
委員	<p>施策評価シートが見つらい。また、評価シートの中には主要事務事業が 記載されているが、事務事業評価シートが無いので分かりづらいのではな いか。また、施策評価シートは枚数が多い。A4かA3の1枚で見られる ようにすることを検討いただきたい。</p>
小平企画財政課長	<p>施策評価シートについては、改善をしてこのシートになっているが、改 善不足だったかもしれない。ご意見をいただく中でシートの改善はしてい きたい。また、資料についてはA3版1枚などの提示も検討したい。 事務事業評価シートは、作成はしてあるため、本日も添付することは可 能であったが、資料が膨大になってしまうため今回は省略させていただい た。必要であれば出すことを検討する。</p>
委員長	<p>H27年にもらった評価シートはかなり膨大であった。今回はそれに比べ るとだいぶ少なくはなっている。</p>
委員	<p>評価シートは厚ければ良いというものではないので、薄くても中身を充 実できるよう検討いただきたい。</p>
委員	<p>今井市政では、介護ボランティアと仮想通貨の連携やキャッシュレス化 による外国人観光客の誘客といった政策があるかと思うが、この計画を策 定したのは前市政であるので、今井市政の政策も盛り込んでいくことを検 討いただきたい。</p>

小平企画財政課長	今井市長のマニフェストは必要に応じて計画に取り込んでいく。
委員長	この案件については、他に意見があれば、後日事務局まで連絡をお願いしたい。次回の会議で回答をお示しする。
東城施設管理係長	(5) 茅野市公共施設等総合管理計画の個別計画について ・・・資料6に基づき説明・・・
委員長	何か意見質問はあるか
委員	とても資料が見きれないが、次回の審議会で意見を言うことでも良いか。
東城施設管理係長	次回の審議会の時でも、それ以外の時で意見をお寄せいただきたい。
	9 その他
委員	資料が多いので事前配布をしていただきたい。
小平企画財政課長	資料についてはできるだけ事前に配布するようにしたい。
小平企画財政課長	次回の委員会は、8/23（金）6時30分からを予定している。 計画の進行管理と公共施設の管理計画のご意見については、8月9日までに提出いただきたい。事務局としては、それをまとめて次回の会議資料とする。
副委員長	10 閉会 活発な議論をしていただいた。 有効な指標の考え方や、挑戦的な目標値の立て方、PDCAを回したときの特に「A」についてどうするかということ、分けることの必要性、一番重要なのは市民の思いと市長の思いがどれだけこの計画に入っているのかということ。 とはいえ行政は日常業務がありながら将来に向けての活動も行いご苦労様である。 長時間の会議お疲れ様でした。